

施策番号	施 策 名	予算額(百万円)		
423	集客交流産業(ビジターズ・インダストリー)の振興	921		
<p>【2010年度の目標】</p> <p>三重県を訪れる人びと(ビジターズ)の立場に立った個性的な観光、リゾート地域の整備や地域の特性を生かした地域づくりが進められ、国内外との交流が盛んに行われるとともに、集客交流を支える新しい産業(ビジターズ・インダストリー)が活発に展開しています。</p>				
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)	
観光情報などの提供拠点数	72か所	96か所	90か所(100か所)	
ふるさと三重の語り部登録者数	108人	351人	350人(300人)	
三重観光大使の任命者数	-	33人	100人(200人)	
大規模会議誘致件数(年間)	89件(1997年度)	91件	120件(150件)	
国際観光テーマルートの設定	-	2コース	2コース(同上)	
体験型観光施設数	39か所	60か所	58か所(100か所)	
観光レクリエーション 入込客数(総数)	(1995年度) 4,555万人	(1999年度) 4,540万人	5,000万人(5,900万人)	
海外からの観光入込客数 (年間)	(1995年度) 4万3千人	-	6万人(20万人)	

これまでの取組

競争力の強化を図るための1つとして、中立な第三者による宿泊施設等の特色を調査し、ガイドブックを作成する新宿泊情報提供推進事業を実施し、ユーザーへのニーズに応じた情報提供を行うとともに、施設サービスの向上等事業者の意識改革に取り組みました。また、三重県の認知度を高めるため、複合的なメディアを活用したキャンペーンを官民一体で展開しました。

平成13年度の取組

平成13年度については、ビジターズ・インダストリーの推進に関して県が行うべき施策は、「競争力強化」と「内外への情報発信」の2つの大きな柱とし、2005年愛知万博戦略プランを踏まえた事業展開を行います。特に、交流を盛んにするため個性的で魅力的な地域づくりを支

援するとともに、もてなしの心の醸成を促すこととします。また、来訪者の立場に立った、きめ細かな観光情報の提供や地域の物産資源を活かした情報発信力を強化するとともに、広域連携も踏まえて国内外の観光情報発信を推進します。

主な事業

- 1 (新)2005年集客交流戦略事業 (75,000(75,000)千円)
【(201)もてなしの心の増進事業】〔農林水産商工部〕
「2005年日本国際博覧会三重戦略プラン」に位置づけられた戦略を展開し、伊勢志摩地域等への集客交流を図るため、「伊勢志摩再生委員会(仮称)」などの推進体制を整備するとともに、地域資源の魅力アップや情報発信、サービスの向上や集客交流の基盤整備等に取り組みます。
- 2 (新)伊賀甲賀広域連携事業 (4,848(4,848)千円)
地域予算 【(201)もてなしの心の増進事業】〔伊賀県民局、農林水産商工部〕
伊賀甲賀両地域に共通する地域資源を連携して情報発信することにより、その効果を高め、集客交流の拡大や地場産業の振興につなげます。また、住民参加型の連携事業や住民・行政の協議会の開催を通じて、相互理解と交流の拡大を促し、県境のバリアフリー化、一体感の醸成を図ります。
- 3 広域観光テーマルート促進整備事業 (95,000(47,500)千円)
【(301)観光リゾート整備促進事業】〔農林水産商工部〕
観光客の三重県に対するイメージアップを図るため、伊勢志摩・奥伊勢地域に一定の観光テーマに基づいたサインなどを整備します。
- 4 (一部新)「みえとあそんで」観光振興事業 (212,420(212,420)千円)
【(501)観光キャンペーンの推進事業】〔農林水産商工部〕
三重県の観光産業の健全な発展を図るため、観光みえ推進協議会と(社)三重県観光連盟を統合することにより、情報発信、広報宣伝の専門機関を確立し、これを支援します。
- 5 (新)新「三重ブランド」推進事業 (19,934(19,934)千円)
【(1101)物産の総合振興事業】〔農林水産商工部〕
全国に通じるブランドが確立されている県産品を「三重ブランド」として認定・情報発信し、三重県の知名度向上を図るとともに、新たな県ブランド産品の創出への支援を行います。

主な見直し項目

県営サンアリーナ企画利用促進事業

サンアリーナのPR、知名度向上の所期の目的が達成されたため、廃止。

地域広域集客プロジェクト促進事業

自然体験交流促進事業等の事業により行うこととして廃止。